

『民俗臺灣 復刻版』

本統治時代の台湾研究に欠かせない情報が、論文・写真・広告として満載。あたらしい文化の影響を受け、常に変遷しつつある台湾のあらゆる民俗や文化を記録した貴重な資料集。

推薦：島村恭則 関西学院大学社会学部教授

電子書籍
各巻本体価格26,400円+税

巻数	収録号	ISBN
第1巻	1941年7月号創刊号～1941年12月号	ISBN 978-4-86759-211-3
第2巻	1942年1月号～1942年6月号	ISBN 978-4-86759-212-0
第3巻	1942年7月号～1942年12月号	ISBN 978-4-86759-213-7
第4巻	1943年1月号～1943年6月号	ISBN 978-4-86759-214-4
第5巻	1943年7月号～1943年12月号	ISBN 978-4-86759-215-1
第6巻	1944年1月号～1944年6月号	ISBN 978-4-86759-216-8
第7巻	1944年7月号～1945年1月号	ISBN 978-4-86759-217-5

全巻揃価格 184,800円+税 ISBN 978-4-86759-183-3 3アクセスまで同一価格です。

印刷書籍(全巻揃 / 分売不可)
A5 並製全7巻 セット本体価格 184,800円+税
ISBN978-4-86759-322-6



試読できます。
こちらから

お奨めします

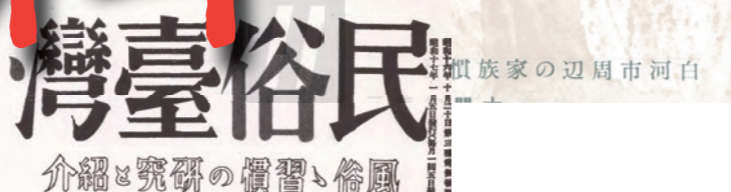
民俗学、文化人類学、観光学、言語学、社会学、芸能、宗教、神道の研究者、
公共図書館・大学図書館など

電子書籍 図書出版かなえの 民俗学資料

民俗学研究の原点といわれる「郷土研究」、「民間傳承」、「旅と傳説」、
および「民俗臺灣」を電子書籍で復刻。各誌の用語を
横断検索でき、民俗学研究の発展に貢献できる資料群!!

【本書を推薦します】 大石泰夫 日本民俗学会会長 國學院大學文学部教授

民俗研究には、まずは豊富な民俗資料が必要である。『郷土研究』『旅と伝説』『民間傳承』『民俗台湾』4種の雑誌に寄せられた論文は、大正期から戦後、高度成長期までの民俗資料の宝庫である。
また、方法論とは言えないまでも、フィールドで立ち上がる様々な筆者の「民俗学的認識」に基づいた視点が、これらの雑誌に掲載された論考には息づいている。これらの雑誌の掲載論文は、現在の論文とは異なった学問的関心を喚起させる。
まさに「温故知新」の宝庫ともいえるのである。こうしたものが、電子書籍となってまとめて私たちの手元に帰ってくる。すべての民俗研究を志す人に、これらをまとめて薦めたい。



7

巻数	収録号	ISBN
第1巻	1941年7月号創刊号～1941年12月号	ISBN 978-4-86759-211-3
第2巻	1942年1月号～1942年6月号	ISBN 978-4-86759-212-0
第3巻	1942年7月号～1942年12月号	ISBN 978-4-86759-213-7
第4巻	1943年1月号～1943年6月号	ISBN 978-4-86759-214-4
第5巻	1943年7月号～1943年12月号	ISBN 978-4-86759-215-1
第6巻	1944年1月号～1944年6月号	ISBN 978-4-86759-216-8
第7巻	1944年7月号～1945年1月号	ISBN 978-4-86759-217-5

Maruzen eBook Library

丸善のライブラリアン向け情報サイト
Library Navigator

最新情報をご案内中!
QRコードからご覧頂けます

株式会社かなえ
〒171-0014 東京都豊島区池袋2-30-18-202
TEL 03-6912-7238 FAX 03-6912-7239
ホームページ: <https://kanae-book.co.jp>
Mail: info@kanae-book.co.jp

【専用試読サイト】
<https://kanae-ebook-0303.actibookone.com>

『民間伝承 復刻版』

「民間伝承」は、日本民俗学会の前身である、現地に暮らす住民から報告される生の民俗資料によって、民俗学の解明を進めることを目的として創設された「民間伝承の会」(1935年設立)の機関誌として柳田國男指導のもとに創刊された。

「民俗資料は、集めて比較してみなければ価値がない」と語った柳田國男の指導の下、会の機関紙であり、民俗学研究のバイブルと称された。

《収録号と刊行予定》

本体価格154,000円+税(第8回配以降は予価)

配本回	収録号	刊行予定	ISBN
1	1935年9月号～1942年3月号	2023年11月	978-4-86759-426-1
2	1958年4月号5月号6月号合併～1960年12月号	2023年11月	978-4-86759-427-8
3	1942年5月号～1944年7月号	2024年6月	978-4-86759-537-4
4	1946年8月号～1949年12月号	2024年8月	978-4-86759-547-3
5	1950年1月号～1952年12月号	2024年11月	978-4-86759-642-5
6	1953年5月号～1958年2月号	2025年9月	978-4-86759-713-2
7	1961年2月号～1967年12月号	2025年11月	978-4-86759-714-9
8	1968年4月号～1974年12月号	2026年	978-4-86759-715-6
9	1975年4月号～1983年6月号	2026年	978-4-86759-716-3

3アクセスまで同一価格です。

『旅と伝説 復刻版』

創刊当時は旅に関する記述が多かった本誌。創刊八号目の昭和3年8月号から柳田國男の伝説論「木思石語」の連載が始まり、以降中山太郎、早川孝太郎、佐々木喜善、南方熊楠、折口信夫、本田安次らの寄稿が続き、民俗学雑誌へと変化した。

また、一般読者へも民俗調査の報告を投稿するよう呼びかけられていった。

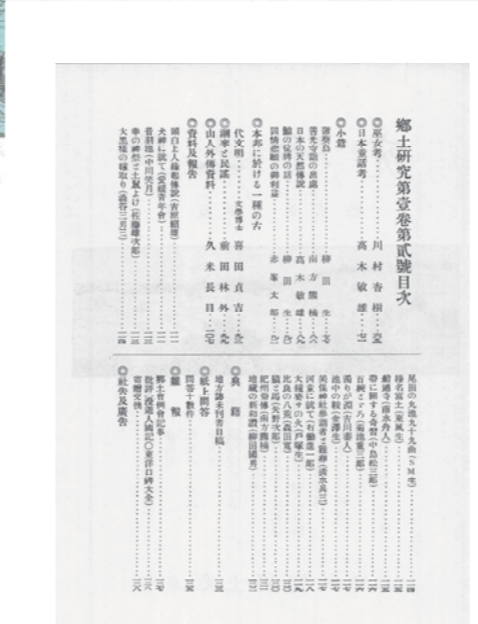
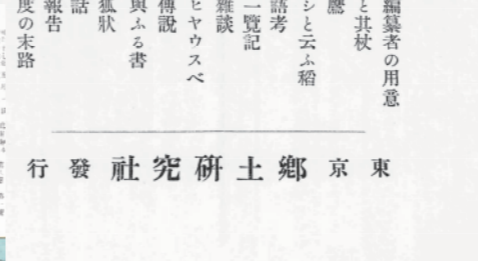
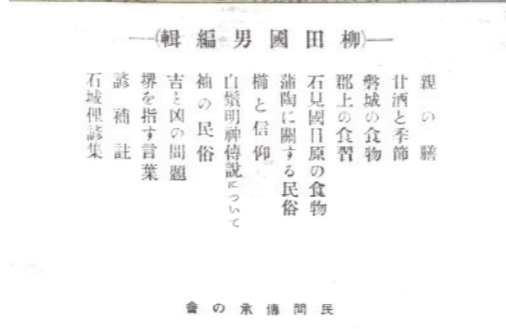
《収録号と刊行予定》

本体価格154,000円+税(第10回配以降は予価)

配本回	収録号	刊行予定	ISBN
1	1928年1月号～1928年12月号	2023年11月	978-4-86759-428-5
2	1929年1月号～1930年6月号	2024年1月	978-4-86759-449-0
3	1930年7月号～1931年12月号	2024年6月	978-4-86759-536-7
4	1932年1月号～1933年6月号	2024年8月	978-4-86759-546-6
5	1933年7月号～1934年12月号	2024年11月	978-4-86759-641-8
6	1935年1月号～1936年6月号	2025年7月	978-4-86759-717-0
7	1936年7月号～1937年12月号	2025年9月	978-4-86759-718-7
8	1938年1月号～1939年6月号	2025年11月	978-4-86759-719-4
9	1939年7月号～1940年12月号	2025年12月	978-4-86759-720-0
10	1941年1月号～1942年6月号	2026年	978-4-86759-721-7
11	1942年7月号～1944年1月号	2026年	978-4-86759-722-4

3アクセスまで同一価格です。

『郷土研究復刻版』『民間伝承復刻版』『旅と伝説復刻版』の解説：島村恭則 関西学院大学社会学部教授

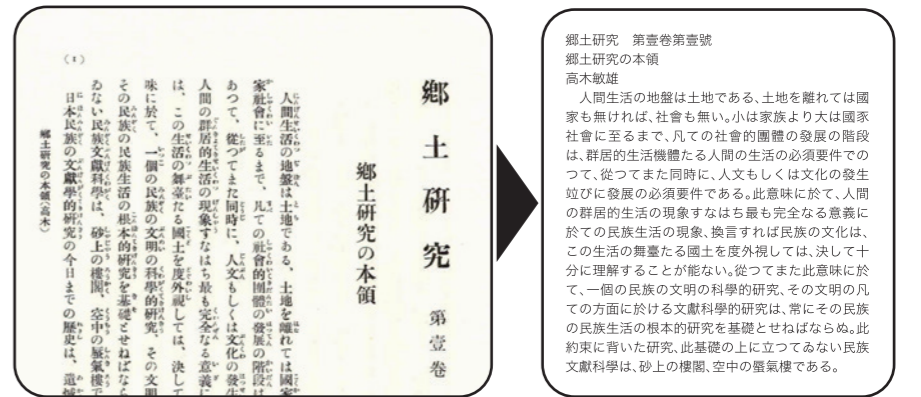


『郷土研究 復刻版』

本誌は、明治43年柳田國男を中心に創立された郷土会(郷土研究会)の機関誌として大正2年3月号に郷土研究社から創刊され、昭和9年4月号で終刊となる。

論考には、柳田國男、折口信夫、南方熊楠、金田一京介などが執筆し、民俗学発展には欠かせない存在の雑誌であると同時に研究者必備の資料である。

また、本書は旧字体やルビに対応したOCR処理を施してあります。



※ 読み取りできない文字もあります。

《収録号と刊行予定》

本体価格 88,000円 +税(第5回配以降は予価)

配本回	収録号	刊行予定	ISBN
1	1913年3月号～1914年2月号	2025年7月	978-4-86759-723-1
2	1914年3月号～1915年2月号	2025年7月	978-4-86759-724-8
3	1915年3月号～1916年3月号	2025年9月	978-4-86759-725-5
4	1916年4月号～1917年3月号	2025年9月	978-4-86759-726-2
5	1931年3月号～1932年11月号	2026年	978-4-86759-727-9
6	1933年1月号～1934年4月号	2026年	978-4-86759-728-6

3アクセスまで同一価格です。

